

第 38 回長野市地域公共交通会議 議事概要

- 1 開催日時 令和 6 年 1 月 31 日（水） 9 時 30 分～10 時 10 分
 - 2 開催場所 長野市役所第一庁舎 4 階 会議室 141
 - 3 出席者 出席委員 15 人
 - 4 次 第
 - 1 開 会
 - 2 あいさつ
 - 3 報告事項 長電バス株式会社が運行する長野市内路線バスの「日曜日運休」について
 - 4 協議事項
 - (1) 長野市地域公共交通会議の規約改正について
 - (2) 中心市街地ぐるりん号及び廃止路線代替バスの見直しについて
 - (3) 茶臼山動物園線（Zoo ぐる）の運行内容の見直しについて
 - (4) 乗合タクシー松代観光地線の運行について
 - (5) 信更地区乗合タクシーすずらん号の路線の見直しについて
 - 5 そ の 他
 - 6 閉 会
- 5 議事概要

【3 報告事項】

長電バス株式会社が運行する長野市内路線バスの「日曜日運休」について

[資料 1 に基づき長電バス（株）及び事務局より説明、報告]

<質疑・意見>

(A 委員)

日曜日運休については、ドライバー不足によるものであり致し方ない。

タクシー業界でもコロナ前と比べると時間帯によっては足りていない。しかし、日曜日に利用したい人はいる。運転手が充足されるまでの限定的なものでもいいが、その人たちに向けてタクシーの利用補助券を考えてみてはどうか。

また、市の広報紙を利用したのドライバー募集はぜひお願いしたい。

(事務局)

ご意見として頂戴した。

(B 委員)

資料 1 - 4 について、タクシー事業者への措置はあるのか。

(事務局)

現時点では、市民の足を確保するための緊急的な措置としてバス事業者への支援を優先的に行うものとする。タクシー事業者については、状況を見ながら判断してまいりたい。

(C 委員)

資料 1 - 4 について、運転手募集説明会の対象者は誰であるのか。またどう説明するのか。

(事務局)

説明会自体はバス事業者が行うものであるため、バス事業者に決めてもらう。市としてはその支援を行うものとする。

(D 委員)

資料 1 - 1 について、今年の採用者 1 名は新卒であるのか。また退職 2 名の退職理由は年齢によるものなのか、それとも待遇面での理由なのか。

運転手の推移についてはどのような状況であるのか。

(長電バス)

採用者 1 名は中途採用である。

退職者の退職理由は年齢によるものではなく、待遇面を含めてのものである。

今後の運転手の充足については大きくは改善していかないと考えている。

悪化していく可能性が高い。

(D 委員)

退職理由の待遇面については、年収と労働時間によるものか。

(長電バス)

2024 年問題は運転手の労働条件が緩和されるため、採用活動では絶好の機会と捉えている。一番の理由は賃金である。

【4 協議事項】

(1) 長野市地域公共交通会議の規約改正について

[資料 2 に基づき事務局より説明、原案どおり決定]

(2) 中心市街地ぐるりん号及び廃止路線代替バスの見直しについて

[資料 3 に基づき事務局より説明、原案どおり決定]

<質疑>

(D委員)

中心市街地ぐるりん号について、当初は生活路線と観光を担う路線であったが、環状路線ということで生活路線に特化してきた路線である。今回の変更内容については引き続き一定間隔での運行となっているが、今後については利用実態を調査したうえで、運行間隔や運行時間を検討してほしい。

(事務局)

利用実態については随時調査している。それを加味しながら新たな運行ルートについても検討したい。

(D委員)

廃止代替路線は、地域公共交通計画の中で目的に応じた運行サービスレベルが設定されている。減便したときにそれが維持できているか検証してほしい。長距離路線についても減便での対応としているが、区間を分けて運行ルートや運行方法を踏まえたいので検証してほしい。

(事務局)

ご意見を参考にしたい。アルピコ交通の川後線については距離を短縮し、乗合タクシーへ乗り換えてもらうよう再編した。今後も地域公共交通計画に沿いながらしっかりと再編してまいりたい。

(3) 茶臼山動物園線（Zoo ぐる）の運行内容の見直しについて

[資料4に基づき事務局より説明、原案どおり決定]

(4) 乗合タクシー松代観光地線の運行について

[資料5に基づき事務局より説明、原案どおり決定]

(5) 信更地区乗合タクシーすずらん号の路線の見直しについて

[資料6に基づき事務局より説明、原案どおり決定]

<質疑>

(D委員)

大門下からふれあい館までの利用者はどれくらい見込めるのか。

(事務局)

利用者数についての具体的な数字は不明である。アルピコ交通の路線バス原市場線が通っていた路線であるが、平成28年の廃線と同時に空白地域となっている。地元からの要望と高齢者が多い地域であることから、利用者は増えていくのではないかと考えている。